

2026 謹賀新年

新春対談 その一歩が、10年後を創る



女子プロサッカーチーム 日テレ・東京ヴェルディベレーザ

©TOKYO VERDY

あけましておめでとうございます

区民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、板橋区においては、昨年10月に、令和8年度からの概ね10年後の望ましいまちの姿を示す、「板橋区基本構想」が議決され、新たにめざすべき将来像を、「未来をひらく緑と文化のかがやくまち"板橋"」と掲げました。

この基本構想は、区政の長期的指針となるもので、区はもとより、区に住み・働き・訪れるすべての人々や、区に関係するあらゆる主体が、ともに未来を展望し、共有するものです。将来像には、これまで育んできた土台をもとに、様々な団体・地域・区民の皆様と協力し合いながら、新しいページを「開く」ように可能性を広げ、自ら未来を「切り拓いていく」という決意が込められています。

また、「ひと・まち・みらい」の視点から、3つの基本理念を定めるとともに、「将来像につながる9つのめざす姿」を掲げております。基本構想の実現に向け、基本政策や施策をまとめた「次期板橋区基本計画」並びに、基本計画を推進する短期的なアクション

プログラムである「次期いたばしNo.1実現プラン」の策定に取り組んでいます。

区を取り巻く社会経済環境や区民の生活様式は、コロナ禍の経験や急速な少子高齢化の進行、気候変動による風水害の激甚化など著しく変化しています。このような先行き不透明で予測困難な時代に、新たな未来を切り拓くためには、地域や関係機関の皆様との連携強化により、新たな価値や魅力をとともに創り上げていく「共創」が不可欠であると考えています。

令和8年は、これまでの取組をさらに発展させるべく、絵本文化をはじめとした地域資源や区民一人ひとりの創造的な活動がかがやき、多様な文化や芸術の交流がはぐくまれることによって、新たな価値・魅力が創り出されるまちをめざしてまいります。

これからも、「あたたかい人づくり、やさしい区政」を信条に、「ひと」と「まち」「みらい」の視点をもって、「板橋区の未来」を考え、持続可能な区政を着実に進めてまいります。

本年も引き続き、区政に対するご理解とご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



板橋区 長

坂本 健

新春対談 その一歩が、10年後を創る

板橋区をホームタウンのひとつとして活動する女子プロサッカーチーム、日テレ・東京ヴェルディベレーザ（以下、ベレーザ）。昨季は女子プロサッカーのトップリーグ「2024-25 SOMPO WEリーグ」で初優勝を果たし、今後益々の活躍が期待されています。

今回は、ベレーザの村松智子選手・野田にな選手に、競技や地域交流のこと、そして将来の理想像などを伺いました。

COLUMN

板橋区とベレーザのつながり

2015年1月29日、スポーツの振興・地域の活性化を目的とした連携協定の締結がきっかけとなり、交流が始まりました。以来、区民観戦デーや小学生向けのサッカー教室などで、活発な交流が続いています。



協定締結の様子

2025年の振り返り

区長 初めに、「2024-25 SOMPO WEリーグ」での初優勝、誠にありがとうございます。最終節まで優勝争いが続く大接戦を制されました。今シーズンも勢いそのままに活躍されていますね。お二人にとって、2025年はどのような1年でしたか。

村松智子選手(以下、村松) チームがずっと欲しかった優勝というタイトルを獲れて、とても良い1年でした。苦勞もたくさんしましたが、だからこそ優勝の喜びも大きかったですね。

野田にな選手(以下、野田) 優勝後には、新しい監督や選手がチームに加わり、アジアの大会(AFC女子チャンピオンズリーグ2025/26)にも参加することになったので、チームにとって新しい挑戦の年でもありました。

区長 優勝を決めた試合を現地で観戦しましたが、すごい盛り上がりでしたね。本当に感動しました。板橋区も2025年は、これまでの10年間の集大成の年であり、そしてこれから10年後の将来について考える、非常に実りの多い1年でした。ベレーザにとっても板橋区にとっても、大きな転換点となる年でしたね。

サッカーとの向き合い方

区長 少しさかのぼった質問になりますが、お二人がサッカーを始めたきっかけは何だったのでしょうか。

村松 私は小学2年生のとき、5歳年上の兄の影響で始めました。兄のことが大好きで、「同じことをやれば構ってもらえる」と考えたんだと思います。

野田 私は小学1年生のとき、スポーツ好きの父の影響で始めました。なでしこジャパンがワールドカップで優勝したのも、本格的に始めたきっかけです。

区長 競技を長く続けていくうえで、日頃大切にしていることはありますか。

野田 プロである以上、ピッチにいる時間ももちろん、ピッチにいない時間をどう過ごすかが自分のキャリアや人生を決めるとしています。試合に出ていない時のトレーニングやコンディション作りは特に意識していますね。

区長 ゴールキーパーにとって最も大切なスキルは何でしょうか。

「1年1年を大切にしながら
積み重ねていきたいですね」

坂本健 区長

「女子サッカーといえばベレーザ
と言われるよう連覇をめざします」

村松智子 選手

「選手としても人間としても
成長できる年にしたいです」

野田にな 選手

区長 それもまたいいですね！自分の直感を信じるのも大切なことです。

地域交流の魅力

区長 さて、ベレーザのみなさんは、区民観戦デーに区民の方を招待したり、区内の小学生向けにサッカー教室を開催したりと、積極的に地域交流をされています。お二人にとって思い出に残っている出来事がありますか。

村松 区民観戦デーでは、多くの方が試合を見に来てくださるので、競技と向き合うモチベーションにつながっています。嬉しい瞬間も悔しい瞬間も共有できる、非常に大事な時間だなと感じますね。また、チームが定期的に行っている清掃活動があり、私も本蓮沼駅周辺の清掃に参加したのですが、ユニフォームを着ていると「ありがとうございます」と声をかけてもらえるんです。「こちらこそ、声をかけてくれて本当にありがとうございます！」という気持ちでした。

区長 同じ地域の中で生活していて、選手を身近に感じられることが、ベレーザのファンになるきっかけになりますね。

野田 私は子どもたちと一緒にサッカーをした事が思い出に残っています。板橋区の小学校でサッカー教室を開催したときも、あたたかく迎えてもらいました。学校全体の雰囲気も良く、元気な子どもたちばかりで本当に楽しかったです。

区長 これからの社会を担う子どもたちにとっても、みなさんとの交流は夢や目標を育む貴重な機会になったと思います。これからもぜひ交流を続けていただき、区のスポーツ振興や地域の賑わい創出にご協力いただけますと幸いです。

2026年の意気込み

区長 冒頭でふれましたが、板橋区では昨年、概ね10年後の区のあるべき姿を示した長期的指針「板橋区基本構想」を策定しました。これからも、未来を見据え、新たな価値や魅力が創り出されるまちをめざしていきます。お二人の2026年の意気込み、そして10年後の「理想の自分像」についてお聞かせください。

野田 2026年は、選手としても人間としても昨年以上に成長する年にしたいです。それを積み重ねて、10年後はチームを引っ張っていける存在になり、日本代表としてワールドカップでの優勝を叶えられたらいいなと思います。

村松 昨シーズンリーグ優勝したので、2026年はチームとして連覇をめざしたいです。そしてアジアの大会でも、日本のクラブチームとしてタイトルを獲れるように頑張ります。10年後は、これまで競技を続けてきて得られた経験を子どもたちに還元して、子どもたちがサッカーを始めるきっかけになるような仕事をしたいですね。

区長 1年1年を大切にしながら頑張っていきましょう。その積み重ねが、今まで育んできた土台の上で大きな成果となって現れると確信しています。さて、最後になりますが、区民のみなさんにメッセージをお願いします。

村松 いつも応援していただき、ありがとうございます。これから多くの方にベレーザを知ってもらえるよう積極的に活動していきますので、ぜひ、スタジアムで私たちの試合を見ていただけたら嬉しいです。

野田 みなさんの応援が、苦しい時も頑張れる「力の源」になっています。これからも応援してもらえるよう、みなさんの想いも背負って戦ってまいります。

区長 これからもぜひ、区民のみなさんを勇気づけるような活躍をお祈り申し上げます。村松選手、野田選手、本日はありがとうございました。

新春動画 メッセージを 配信しています

YouTube区公式チャンネルで、村松智子選手・野田にな選手の新春動画メッセージを配信しています。ぜひ、ご覧ください。



詳しくは
こちらから



©TOKYO VERDY



©TOKYO VERDY

審査員賞
***絹シフォンケーキ
(プレーン)CHIFFON KINUYA
▽ 大山西町49-3区民賞
***クラシック・
ヌーボー
クリオロ

▽ 向原3-9-2

おからと豆乳の
かりんとう中野製菓(株)
▽ 中丸町28-14区民賞
***審査員賞

糸いもけんぴ

つぼ焼きいも よかや
▽ 板橋1-31-8坂東彌十郎
セレクション

クレーム キャラメル

Pâtisserie MAné
▽ 高島平8-15-1坂東彌十郎
セレクション
***お米の
シフォンケーキ
(クリームチーズ)綿帽子
▽ 板橋1-11-7

片山のわらび餅

(有)片山商店
▽ 志村1-13-10坂東彌十郎
セレクション
***審査員賞・
坂東彌十郎
セレクション
***

生デニッシュ

マルフクペーカリー
▽ 志村2-9-2区民賞
***肉のマルサン
自家製ハムカツ肉のマルサン
▽ 上板橋2-2-2

区を代表する食のブランドとして、区民のみなさんに愛されてきた「板橋のいっぴん」は、このたび時代や利用者の要望に合わせて品ぞろえをリニューアルし、「板橋のいっぴん2025」を認定しました。大切な人への贈り物や自分へのごほうびとして、ぜひ、ご利用ください。▲専用ホームページ



問 合 板橋のいっぴん事務局 ☎090-1030-8675 (平日、9時~17時)

審査員賞
***豚の
一本角煮JHC秋桜
▽ 赤塚2-15-20坂東彌十郎
セレクション
***高島平ビール
(ホワイト)若松屋酒店
▽ 高島平5-53-2区民賞・
坂東彌十郎
セレクション

塩バターロール

ベーカリーカフェ
マルジュー大山本店
▽ 大山町5-11区民賞
***当店四代目の
賄いパンのぐちやBakery
▽ 赤塚5-1-1審査員賞

抹茶ラテ

(有)大山園
▽ 大山町6-8

高級老茶

(株)共栄
▽ 高島平2-9-4審査員賞
***

「板橋のいっぴん2025」をちょこっとお試し!

抽選で、商品の詰め合わせ(2000円相当)を20人にプレゼント!

▶対象=区内在住・在勤・在学の方 ▶申込・問=1月9日(必着)まで、はがき・電子申請で、広聴広報課広報係(〒173-8501板橋区役所) ☎3579-2022 ※郵便番号、住所、氏名、年齢、本号の感想、今後「広報いたばし」で取り上げて欲しい特集・テーマ、区内在勤・在学の場合は勤務先(所在地)・学校名を明記。
※1人1回のみ応募可。対象となる商品は、区ホームページをご覧ください。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

